

## 報告：原発問題をめぐる全体状況

@第73回脱原発八千代ネットワーク定例会

2018年9月22日 川井康郎

### 1. フクシマの状況

- (1) 政府所管の委員会がトリチウム水（ALPS処理水）の処理に関する公聴会を8月30-31日に福島県（郡山、富岡）と都内にて開催。漁連や市民から多くの海洋放出反対の意見が出された。



- (2) 帰宅困難地域を含めた仮設住宅の無償提供は2020年3月末で終了する。生活の立て直しが困難な避難者の救済が必要。
- (3) 9/16 国連人権理事会報告書は「福島事故除染作業員について、十分な被ばく対策が採られていないなどの深刻なリスクがある」と警告。

### 2. 原子力規制と再稼働の動き

- (1) 高浜4号機が定期点検を終了し再稼働。稼働原発は7基となった（大飯③④、高浜④、玄海③④、川内①②）。

### 3. その他のトピックス

- (1) 9/6 未明、北海道胆振地区に震度7の地震が襲う。
- ・震源断層がいまだに特定されていない。6月の大阪府北部地震（震度6弱）も同様。隠れ断層の存在は原発に危険（規制基準では断層の上に重要施設の建設を禁止）
  - ・地震発生後17-18分後に大規模停電。地域遮断は効かなかったのか？需給バランスが崩れ、周波数変動が生じた経緯を調査中。
  - ・大規模発電（今回は苫東厚真石炭火力）に頼ることの危険性が明らかになった。
  - ・泊原発の外部電源喪失。一時、非常用ディーゼルにて使用済み燃料を冷却
- (2) 5/20、10:00-12:00、四国電力管内で自然エネによる電力供給量が需要の100%を超えていたことが判明（ISEP調べ）。火力と合わせて150万KWが余剰となり、揚水、他電力への融通などに使用した。四国は他に比べて太陽光、水力の比率が高い。
- (3) 9/2 報道によると、事業者（10社）はMOX燃料の再処理費用の計上を2016年以降中止していたことが判明と（但し、経産相は本報道を否定）。
- (4) 日立（Horizon社）による英国原発計画の建設コンソーシアムからバクテル社が離脱。建設の請負リスクを嫌い、PMC（マネジメント契約）に切り替えたもの。

<以上>